

## 胃瘻造設をご希望の先生方へ

当院では胃瘻造設入院を承ります。胃瘻造設をご希望の場合は以下の手順で造設可否の判断をさせていただきます、入院日を決定の上お返事させていただきます。

### 胃瘻造設入院について

- ・原則造設当日のご入院となります。
- ・入院日数は、初めての経管栄養の場合 10 日程度が目安となりますが、症例や転帰先、どの程度胃瘻栄養で賄うか等により異なります。
- ・内服薬服用は原則的に当日朝も可能です。再開は翌日朝からとなります。但し抗血小板薬や抗凝固薬は所定の日数の休薬が必要です。休薬が困難な薬剤などがありましたらご相談ください。
- ・造設可能な胃瘻タイプはチューブ型（プッシュ法による造設）とボタン型（イントロデューサー法による造設）の 2 種類となります。
- ・造設した胃瘻のタイプにより初回交換日が異なります。（チューブ型 16 週後、ボタン型 24 週後）

### 胃瘻造設ご依頼の流れ

①「診療情報提供書」もしくは「胃瘻造設依頼書」を当院地域連携室宛てに FAX にてお送りください。地域連携室より折り返し外来日をお知らせします。

②外来受診から胃瘻造設可否の判定・入院日の決定

#### 1. 患者様ご本人が直接外来受診可能な場合

担当医（内科：永山淳造 外来担当日：水曜午前・金曜午後）外来を受診していただき、診察・腹部単純 CT（経鼻胃管を入れ胃内に空気を 10 ほど注入した状態で撮影します。胃を拡張させての検査となりますので、来院 2 時間ほど前までに食事を済ませてください。）を行い、造設可否の判断を行ったうえで、その場で胃瘻造設に関する説明を行って同意書を作成し、入院日を決定します。

#### 2. 患者様ご本人の受診が難しい場合

別紙の「胃瘻造設問診票」を主治医の先生にご記入いただき、ご家族様が受診してください。受診前に腹部単純 CT（経鼻胃管を入れ胃内に空気を 10 ほど入れた状態で）の撮影をお願いします。画像は DVD 等に保存して外来受診日にお持ちください。（キーフィルムのみプリントアウトしたものでの可否判定は出来かねます。）問診票と CT 画像にて可否判定を行い、ご家族に胃瘻造設に関する説明をしたうえで同意書を作成し、入院日を決定します。

ときわ会病院  
令和 6 年 2 月作成

胃瘻造設入院依頼書

年 月 日

ときわ会病地域連携室宛

FAX 0172-65-4039

紹介元 医療機関名		紹介元 ご担当医師名	先生	
患者様氏名	様	生年月日 年齢・性別	西暦 歳	年 月 日生 男性・女性
患者様 ご住所			電話 番号	
キーパーソン/ 主介護者氏名		続柄	電話 番号	
診断名				
既往歴				
現在の状況	紹介元医療機関入院中 ・ 施設入所中（施設名 ） ・ 在宅			
現在の栄養摂取経路	経口摂取 ・ 経鼻経管栄養 ・ 点滴 ・ 併用（経口・経管・点滴）			
ADL	歩行可 ・ 車椅子 ・ 寝たきり			
当院退院後転帰先	紹介元へ転院 ・ 施設入所 ・ 在宅 ・ その他（ ）			
処方 (別紙可)				
ご本人様 受診可否	受診 可 ・ 不可 *ご本人様受診不可の場合、貴院にて所定の方法でCTを施行し、別紙の「胃瘻造設問診票」 をご記入の上、外来受診時に画像データと問診票をお持ちください。			
備考 受診・入院希望日・造設 キット希望等				

ときわ会病院  
令和2年9月作成

## 胃瘻造設問診票

依頼元ご施設名 \_\_\_\_\_ ご担当医師名 \_\_\_\_\_ 先生

患者様氏名	様	生年月日	年 月 日 生れ
身体・精神状況について			
開口制限*1	有 ・ 無	右側臥位*2	可 ・ 不可 ・ 補助具有れば可
歯の状態*3	前歯のぐらつき 有 ・ 無 内視鏡用マウスピースの装着に問題 有 ・ 無		
拘縮の状況	頸部：有 ・ 無      上肢：有 ・ 無      下肢：有 ・ 無 胃瘻造設術野（上腹部）への影響 有 ・ 無		
意思疎通/会話	意思疎通	可 ・ 不可	会話 可 ・ 不可
行動について*4	チューブ類などの自己抜去の危険性 有 ・ 無		
栄養摂取について			
現在の 栄養摂取状況	経口摂取 ・ 経鼻経管栄養 ・ 点滴 ・ 併用（経口・経管・点滴） 経管栄養有の場合その内容  点滴有の場合その内容		
今後の 栄養摂取	①水分のみ胃瘻から ・ ②経口摂取と併用 ・ ③完全経管栄養 ②の場合経管栄養で摂取予定エネルギー量（      kcal 程度）		
胃瘻造設キットについて			
造設キットの希望*5 有 ・ 無 希望有の場合 チューブ型を希望 ・ ボタン型を希望			

\*1 開口制限があり経口内視鏡が挿入困難な場合はボタン型での造設となります。

\*2 何らかの理由で 10 分程度右側臥位が取れない場合は造設が出来ない場合があります。

\*3 術中歯が抜ける可能性がある場合などはボタン型の造設キットとなります。

\*4 自己抜去等が心配される患者様にはボタン型をお勧めします。

\*5 希望無しの場合当院の判断で造設キットを選択させていただきます。

ときわ会病院  
令和 2 年 9 月作成